

フリーペーパー『神戸北野観光ガイド』 『地元民が教える天王寺・阿倍野グルメ』の制作



DATA

■主な連携先・メンバー

西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部アーバン未来づくりプロジェクト/
株式会社JR西日本コミュニケーションズ/神戸北野地域、および大阪市
天王寺・阿倍野地域の企業、商店等/関西大学教育後援会/関西大学
総合情報学部岡田朋之ゼミ 神戸北野チーム、同・天王寺阿倍野チーム

■活動地域

神戸市中央区/大阪市天王寺区・阿倍野区

■活動期間

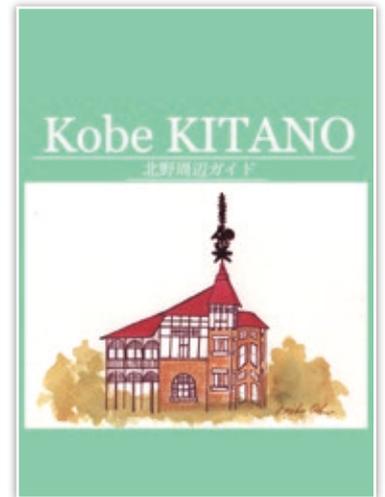
2018年度

■活動資金

JR西日本および関西大学教育後援会事業費(印刷・製本費)

活動の目的

- 1 大阪や京都にない魅力を持ち、海側よりも紹介される機会の少ない神戸の山側の観光地の認知をはかる
- 2 大阪市内で交通の利便性が高いにもかかわらず、梅田や難波よりも観光客が少ない天王寺・阿倍野の認知をはかり、観光客を誘致する



連携にいたる経緯

前年度に大阪環状線ガイドのフリーペーパーでの連携で成功を収めたJR西日本に対して企画を提案したところ、利用客の分散化を図る同社の施策と合致したため、印刷製本の費用負担と配架について協力を得られた。また新入生歓迎企画の一環として冊子配布をおこなう前提下、本学教育後援会からも費用負担の協力を得られた。

活動内容

【神戸北野観光ガイド】

神戸北野地域にある異人館全15館と周辺店舗を直接取材して紹介し、A5判フルカラー全28ページの冊子を制作した。紙面を画用紙に印刷したような見た目になるようにし、記事や見出しの字体を異人館街の雰囲気に合うようにデザインした。完成した冊子は2019年3月にJR三ノ宮駅構内などに配架された。

【地元民が教える天王寺・阿倍野グルメ】

天王寺・阿倍野地域の地元周辺住民に対してSNSを利用したアンケートを実施し、誌面で紹介する店舗や施設を選択した上で、直接取材を元にA5判フルカラー全24ページの冊子を制作した。完成した冊子はJR大阪環状線の主要6駅で配架された。さらに、上記の神戸北野ガイドとあわせて、4月に開催された関西大学の新入生歓迎行事でも配布された。

活動の成果

- 1 取材対象となった店舗や配架先の施設から広く協力を得られた
- 2 企画の趣旨が注目され、全国紙の地域面および県域紙での取材を受けて記事が掲載された

今後の課題・目標

- 1 連携先企業等とのコミュニケーションにおける齟齬をなくし、誠実に対応する
- 2 掲載写真等の素材収集における素材の質の向上(撮影機材やスキルのアップ)
- 3 外国人観光客のための多言語による情報発信

教員紹介



■総合情報学部 教授

岡田 朋之
Tomoyuki Okada

専門はメディア論。情報メディアの革新が人々の日常生活とどう関わっていくかについて、主にスマートフォンやSNSなどを通じたモバイルコミュニケーションの変化の側面から研究している。ゼミでは「メディアをつくる、社会を考える」をテーマに置き、メディアやイベント等の制作を踏まえて社会の問題を考察することを課している。